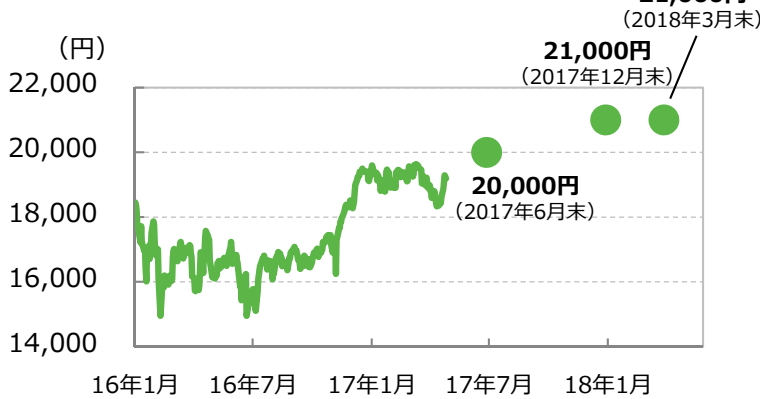


# Market View

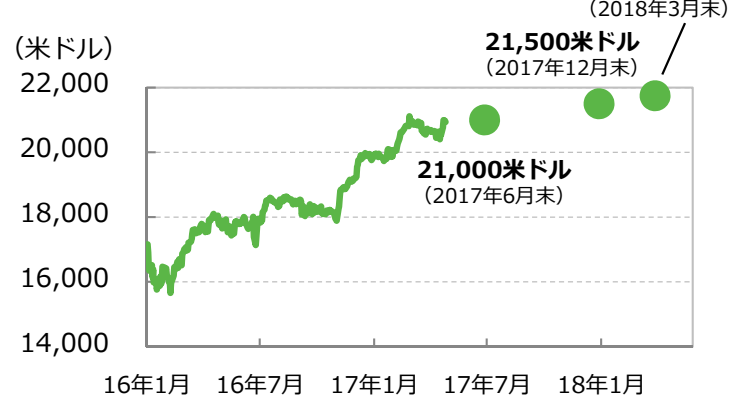
## 株式市場

### 日経平均株価：緩やかな上昇基調



- 米国の景気や地政学リスクへの懸念後退はポジティブ材料だが、既に割安感は後退しつつあることから今後の上昇は緩やかとなる見込み。

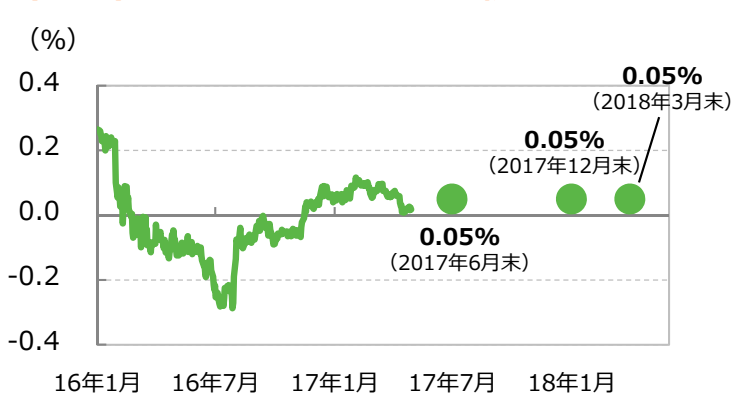
### NYダウ：上値の重い展開



- 良好な企業業績や景気減速懸念の後退が見られるが、バリュエーションの割高感や株式需給の悪化から上値の重い展開を予想。

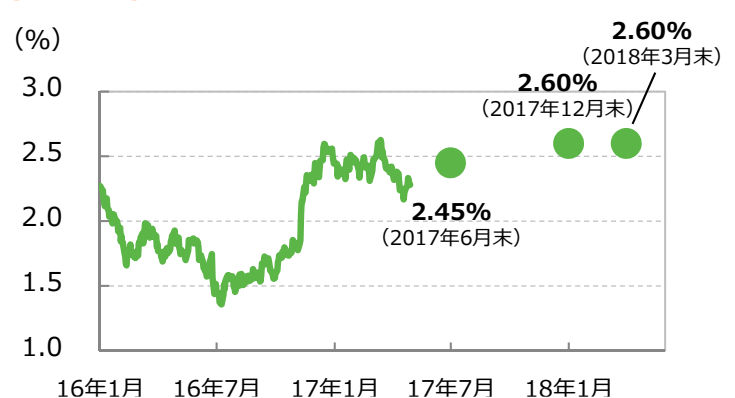
## 債券市場

### 日本10年国債：レンジ相場が継続



- 日銀が長期金利の上昇抑制スタンスを維持していることから方向感が出にくい。
- ただし、グローバルなインフレ期待の剥落や、米国財政政策の議論が加速した際は、大幅な金利変動も。

### 米国10年国債：中長期的には緩やかに上昇



- トランプ政権の混乱や地政学リスクが懸念材料となるが、米国経済の底堅い成長やFRBによる金融政策の正常化などから、中長期的には緩やかな上昇が続くと予想。

※実績値は2016年1月4日から2017年4月28日まで。2017年6月末、12月末、2018年3月末は当社予想。出所：Bloomberg

(1/2)

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

だいwasumiぎん

検索

サイトはこちら

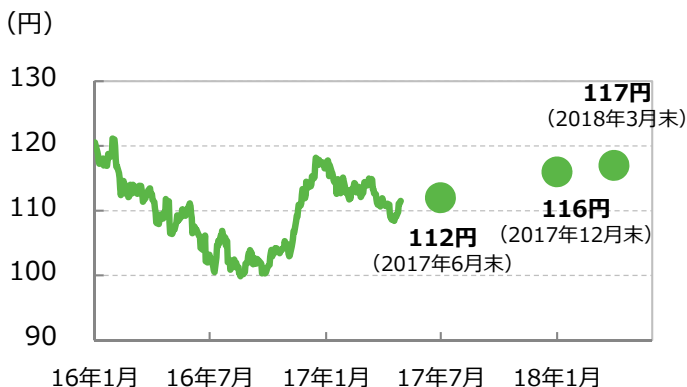


大和住銀投信投資顧問では、インターネットによりファンドのご案内、運用実績等の情報提供を行っております。<http://www.daiwasbi.co.jp>

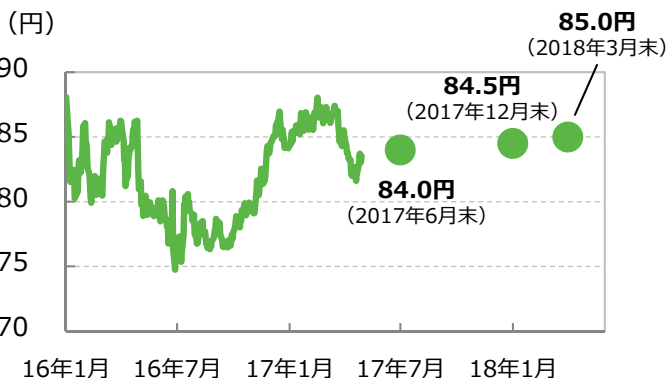
# Market View

## 為替市場

### 米ドル/円：緩やかな米ドル高・円安へ



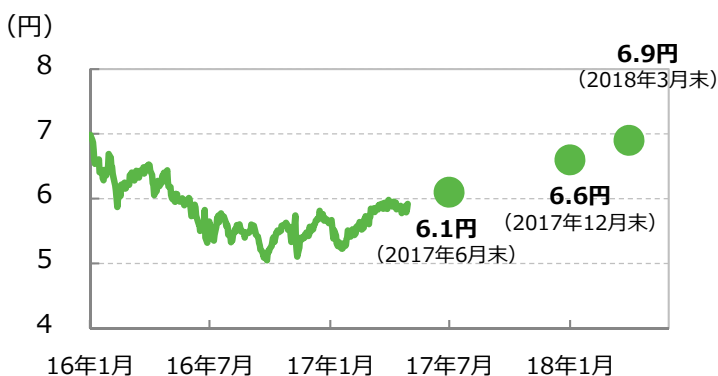
### 豪ドル/円：底堅く推移



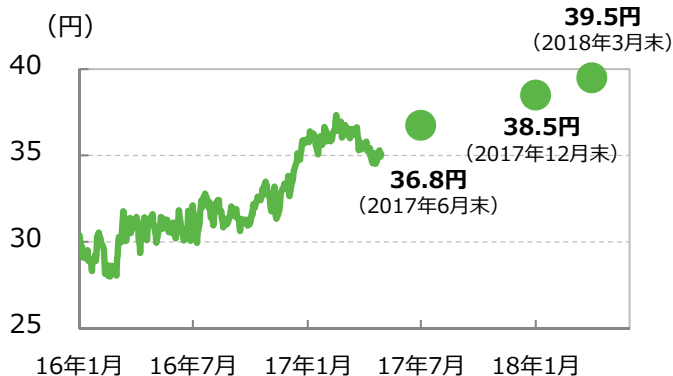
- 米国の重要法案審議の停滞に留意する必要があるものの、米国景気は底堅くFRBによる利上げが続くと見られるため、緩やかな米ドル高とそれに伴う円安を予想。

- 中国の不動産投資規制に伴う資源需要の減少が下押し材料となりうる一方、豪州の物価上昇や対米ドルでの円安進行により、底堅く推移する見通し。

### メキシコペソ/円：緩やかな上昇基調



### ブラジルレアル/円：緩やかな上昇基調



- 足元でNAFTA再交渉がソフトランディングするとの見方が徐々に強まりつつある。
- 年後半にかけて、その見方が一段と強まるに伴い、緩やかな上昇基調を継続すると予想。

- 政権の財政再建策には国内でも反発が見られるが、着実に進行。
- 物価上昇圧力の後退が続く中、中銀の断続的な利下げを通じた景気回復が期待でき、緩やかな上昇基調を予想。

※実績値は2016年1月4日から2017年4月28日まで。2017年6月末、12月末、2018年3月末は当社予想。出所：Bloomberg

(2/2)

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

だいわすみぎん

検索

サイトはこちら

